改定箇所比較表について

資料3

これまで推進してきたこども施策関連の6つの計画（※）を統合した新たな「徳島県こども計画」が令和6年度に策定されること等に伴い、“未来へつながる” とくしま地域福祉プランについても内容の改定を行う。

- ※
- ①第2期徳島はぐくみプラン
 - ②とくしま青少年プラン2022
 - ③第2期徳島県子ども・子育て支援事業支援計画
 - ④徳島こども未来応援プラン
 - ⑤徳島県ひとり親家庭等自立促進計画
 - ⑥成育医療計画（こども関係）

No.	頁	現 行	改 定 後（案）
1	2	3 関連する他の計画との関係 …「徳島はぐくみプラン」等の関連計画と連携を図りながら、	3 関連する他の計画との関係 …「 <u>徳島県こども計画</u> 」等の関連計画と連携を図りながら、
2	3	・計画概念図中、「徳島県総合計画」を「徳島新未来創生総合計画」に修正 ・計画概念図中、「徳島県子ども・子育て支援事業支援計画」及び「徳島はぐくみプラン」を削除し、「徳島県こども計画」を追加	
3	30	（新規追加）	下部に各重点課題をまとめた図を追加
4	39	（新規追加）	○ 市町村と連携し、こどもの医療費や保育料などにかかる、子育て家庭の経済的負担の軽減を図ります。
5	40	○ …子育て世帯の安心感を造成	○ …子育て世帯の安心感を醸成
6	40	○ 若年層における望まない妊娠や	○ 若年層における予期しない妊娠や
7	40	○ 妊娠高血圧症候群（妊娠中毒症）等治療費、不妊に関する検査費、	○ 妊娠高血圧症候群（妊娠中毒症）等治療費、不妊検査費や治療費、
8	44	（新規追加）	○ 地域の実情に応じた課題を迅速に解決するため、エリア単位での連携強化策として、県内三圏域ごとに、市町村はじめ、福祉事務所や関係団体等で構成する「圏域サポートプラットフォーム」を構築し、きめ細やかな支援を実施します。

No.	頁	現 行	改 定 後 (案)
9	44	○ …「心のサポーター養成」や「地域における心の健康づくり」を推進します。	○ … <u>家族や同僚、友人など身近な人に対し傾聴を中心とした支援を行う「心のサポーター養成」、</u> 「心のサポーター養成指導者の育成」や「地域における心の健康づくり」を推進します。
10	48	○ 生活困窮者が生活保護受給に至る前の段階で、早期自立に向けた支援を行う「第2のセーフティーネット」として、自立相談支援事業をはじめ、家計改善支援事業、就労準備事業の各種事業を推進するとともに、住居確保給付金の支給等、生活困窮者の自立支援に取り組みます。	○ 生活困窮者が生活保護受給に至る前の段階で、早期自立に向けた支援を行う「第2のセーフティーネット」として、自立相談支援事業をはじめ、家計改善支援事業、就労準備・ <u>中間的就労支援事業</u> の各種事業を推進するとともに、住居確保給付金の支給等、生活困窮者の自立支援に取り組みます。
11	48	(新規追加)	○ 生活困窮相談者の自立支援に向けて、「住まいの総合相談窓口」を設置し、その窓口「住まいの相談支援員」を配置するとともに、県内の「居住支援法人と連携した支援」や、住居が無い方への「一時的な生活支援」を行います。 また、生活安定に向けて、家賃の改善につなげるため、「転居」を含めた支援プランを策定するとともに、「転居費用の給付」を行います。
12	51	○ …すべての人が暮らしやすい社会を実現するため、施設の整備、製品の製造、役務の提供及び啓発活動などの取組を推進します。	○ …すべての人が <u>安全で安心して暮らせる社会</u> を実現するため、施設の整備、製品の製造、役務の提供及び啓発活動などの取組を推進します。
13	53	(新規追加)	○ 市町村の先進的な取組をモデルとして横展開し、民生委員の活動しやすい環境の整備や担い手確保を図ります。
14	58	(新規追加)	○ 多くの子ども・若者の居場所になっている児童館、子ども会、子ども食堂や学習支援の場などの地域にある多様な居場所や公民館や図書館などの社会教育施設が、子ども・若者にとってよりよい「居場所」となるよう取り組みます。
15	58	○ すべての子どもを対象とした安全・安心な子どもの活動拠点を設けるとともに、地域住民の参画を得た勉強やスポーツ・文化活動等の取組を推進します。	○ 子どもたちの豊かな人間性や創造性を育てるため、学習やスポーツ、文化や芸術に触れる様々な体験活動の充実を図ります。
16	58	○ 昼間就労等により保護者がいない放課後児童などの安全な生活と健全な遊び場を確保し、子どもが安心して放課後を過ごせるよう、放課後児童クラブや放課後子ども教室の拡充や相互に連携した取組を支援します。	○ 全ての放課後児童の健全な育成に向けて、待機児童の解消や安定的な放課後児童クラブ運営を図るために、施設整備、放課後児童支援員の人材確保・育成等に取り組む市町村を支援します。 また、放課後児童クラブ及び放課後子ども教室が、お互いの活動プログラムを共有するなど連携強化を図るとともに、学校や地域が一体となった子どもたちの放課後対策に取り組みます。

No.	頁	現 行	改 定 後 (案)
17	59	○ 地域子育て支援センターで、	○ 地域子育て支援拠点で、
18	59	○ …多様な生活・福祉ニーズに幅広く対応する「ユニバーサルカフェ（多世代交流・多機能型）」を推進します。	○ …多様な生活・福祉ニーズに幅広く対応し、 <u>支え合う</u> 「ユニバーサルカフェ（多世代交流・多機能型）」の普及、利用促進を図ります。
19	65	○ 近年、デジタル社会の進展による、高齢者や障がい者をめぐる新たな消費者トラブルの増加が懸念されており、	○ 近年、デジタル社会の進展による、高齢者や障がい者をめぐる新たな消費者トラブルの増加、 <u>さらに巧妙化・複雑化する特殊詐欺やSNS型投資・ロマンス詐欺の被害の増加</u> が懸念されており、
20	68	(新規追加)	○ 「認知症になってからも、一人ひとり個人としてできること、やりたいことがあり、住み慣れた地域で仲間等とつながりながら希望を持って、自分らしく暮らし続けることができる」という「新しい認知症観」に立ち、「徳島県認知症施策推進計画（仮称）」を策定し、認知症施策の一層の推進を図ります。
21	68	○ 急増する児童虐待問題に適切に対応するため、相談支援体制を充実し、…	○ 急増する児童虐待問題に適切に対応するため、 <u>児童福祉司や児童心理司の適切な配置に努め、児童相談所の機能強化を図る等</u> 、相談支援体制を充実し、…
22	68	○ 支援を必要とする「ヤングケアラー」について、早期発見・把握を徹底し、適切な支援サービスに繋げていくため、関係機関の連携による支援体制の構築を推進します。	○ 潜在化しやすく、支援が届きにくい状況となっているヤングケアラーについて、「徳島県多機関・多職種連携によるヤングケアラー支援マニュアル」に基づき、こども家庭センター、福祉、介護、医療、教育等の関係機関が連携し、支援のノウハウを共有するとともに、様々な課題を抱えることもと家庭に寄り添った支援を実施します。 また、周囲のおとながヤングケアラーへの理解を深め、当事者に寄り添った姿勢の下で適切な支援につなげていくことが可能となるよう、支援が必要なこども・若者や家庭に「気づく」視点を普及するとともに、学校や関係機関職員、民生委員・児童委員等を対象とした研修を実施し、地域における支援体制を強化します。
23	68	(新規追加)	○ 子育てや家庭教育に不安を持つ保護者や、いじめや不登校、暴力行為等、学校生活で悩みを抱えている児童生徒が相談できるよう、電話による相談、高度の専門知識を有する者による相談援助活動等を実施するとともに、相談機関等との連携により相談体制の充実を図ります。
24	73	○ 外国人介護人材が、介護現場で円滑に就労・定着できるよう、介護技術向上のための取組等を支援するとともに、介護事業所が外国人人材を採用するための一貫したサポート体制を構築し、外国人介護人材の活躍を促進します。	○ 介護事業所や障がい者支援施設が外国人介護人材を採用するためのサポート体制を構築する等により、外国人人材の活躍を促進するとともに、福祉関係の資格を持ちながら様々な理由で現在福祉職に就いていない方のセカンドキャリアとしての就職を支援するなど、国内外の地域福祉人材確保策の充実強化を図ります。
25	82	(中段 図左下) ○ 対象者の把握 ・ 要援護者の避難支援プランの策定と連携	(中段 図左下) ○ 対象者の把握 ・ <u>個別避難計画の作成と連携</u>
26	84	○ 大規模災害時における要配慮者に対して円滑な福祉支援を行うため、県内の福祉関係団体等で構成する「徳島県災害福祉支援ネットワーク会議」を活用し、災害時における福祉避難所等への福祉専門職員の派遣を行います。	○ 大規模災害時における要配慮者に対して円滑な福祉支援を行うため、県内の福祉関係団体等で構成する「徳島県災害福祉支援ネットワーク会議」を活用し、 <u>一般避難所等へ災害派遣福祉チーム（DWAT）の派遣</u> を行います。